

# ウツデイエイジ



転換期の世界経済と地域経済の再生  
シリーズ 技術移転その後、  
アルカリ処理による木材の可塑化  
単板のフィンガージョイントについて

木材の研究と普及  
第39巻・通巻 453号

## 目 次

転換期の世界経済と地域経済の再生…………… 1 A  
期待される北海道の役割 (2)

### “シリーズ 技術移転その後”

- アルカリ処理による木材の可塑化…………… 1
- カラマツの単板切削…………… 5
- 単板のフィンガージョイントについて……………10
- 外材と道産材……………15
- 材質による比較 (針葉樹材) —

内外の話題……………14

〔水溶性防腐処理木材の塗装〕

林産試情報……………24

〔林産試験場報の紹介〕

林産試ニュース……………25

### — スイス ルツェルン カベル橋 —

欧州には屋根のかかった橋が多いが、この橋は湖の出口にかかる木造長大橋で、観光サイトとして有名。

構造はポストアンドビーム、方丈筋カイ大断面。内部は屋根の梁ごとを宗教画で飾っている。

雪の多い北海道などにも、このような屋根のある橋があっても良いと思うが…。



— 撮影者 竹野 鐵男 —